

令和6年度 三河小中学校長会 役員・理事会、郡市代表者会

日時：令和6年10月7日（月）13：30

会場：岡崎市竜美丘会館 501会議室

1 会長あいさつ

2 本日の日程

- 各種団体説明 13：30～13：45
 - ※（公財）日本教育公務員弘済会愛知支部 補助金贈呈式
- 役員・理事会、郡市代表者会 13：45～14：50
- 休憩 14：45～15：00
- 校長研修会 15：00～16：20
 - 講師：早稲田大学教授 藤井 千春 氏
 - 演題：「子どもたちの育ちを語り合う学校－教師たちのウェルビーイングとは何か－」
- ※ 愛知県教育振興会三河支部長会 16：30～

3 関係団体連絡

- ・ 県校長会

- ・ 三教研

- ・ 県校長会事務局

4 協議事項

- (1) 三河小中学校長会組織構成の改善(別紙)
- (2) 古岡奨学会奨学金受給候補者の推薦について
- (3) 各専門委員会の当面する課題について
- (4) 令和6年度三河小中学校長会一般会計中間報告について
- (5) その他
 - ア 令和7年度三河小中学校長会諸会合（一次案）について
 - イ 令和7年度愛知県小中学校長会年間行事検討資料について
 - ウ 令和7年度関係団体総会・大会等予定について
 - エ 令和7年度三河部附属学校研究会予定について
 - オ 令和7年度会費・負担金・購読料等について
 - カ 令和7年度郡市別学校数一覧（予定）について

5 連絡依頼事項

(1) 第五次愛知県教育振興基本計画作成のための意見の集約について

(2) 各専門委員会の報告について ※別紙

- | | |
|---------|---------|
| ①法 制 | ②教育条件 |
| ③学校経営 | ④進 路 |
| ⑤保健体育 | ⑥福祉安全 |
| ⑦給 食 | ⑧生徒指導 |
| ⑨特別支援教育 | ⑩修学旅行特別 |
| ⑪教育課題特別 | ⑫広 報 |
| ⑬東陸小特別 | ⑭東陸中特別 |

(3) 慶弔の対応について（中間報告）

(4) その他

6 情報交換

(1) 愛知教育文化振興会の刊行物について

- ① 『ふえのひびき』編集委員長 岡崎市立三島小学校 柴田知子 校長
② 『社会演習』編集委員長 豊橋市立吉田方中学校 廣田雅昭 校長

(2) その他

【次回案内】

役員・理事会、郡市代表者会

期日：令和6年11月8日（金）13：30より 会場：竜美丘会館

校長研修会

講師：蒲郡市教育委員会教育長 壁谷 幹朗 氏

演題：『六階の窓からエールを送る ～伝統の継承と時代の創造～』

※ 校長研修会後に講師を囲んでの懇親会を予定しています。

令和6年10月7日

三河小中学校長会 役員・理事・郡市代表者会

会長 彦坂 登一郎

1 はじめに ※P2 参照

2 会長説明事項

- (1) 8/9 三河教育懇談会中止措置について
- (2) 三河小中学校長会組織構成の改善について
※別紙参照（当日、紙媒体で配付）
- (3) 校長研修会について
 - ア テーマ 「教師を育てる学校経営」
 - イ 研修計画

	月 日	内 容
1	10月 7日(月)	講話：子どもたちの育ちを語り合う学校 ～教師たちのウェルビーイングとは何か～ 講師：早稲田大学 教授 藤井 千春 様
2	11月 8日(金)	講話：求める校長像（仮題） 講師：蒲郡市教育委員会 教育長 壁谷 幹朗 様

3 会長活動報告

期 日	内 容
7月26日	中高一貫教育具体化検討部会（ウィルあいち） ※P3 参照
8月09日	三河小中学校長会役員・理事会、評議員会及び三河教育懇談会（岡崎ニューグランドホテル） ※南海トラフ地震臨時情報「巨大地震注意」発表により中止
8月11日	三河教員組合OB会（岡崎ニューグランドホテル） ※南海トラフ地震臨時情報「巨大地震注意」発表により中止
8月27日	県教育予算に関する県教委との会議（愛知県庁）
9月03日	県へき地教育研究協議会振興会議（三河教育会館）
9月05日	愛知県PTA連絡協議会役員会・理事会（愛知県教育会館）
9月09日	愛知教育文化振興会理事会（三河教育会館）
9月14日	四者（校長会、県教委、附属学校、組合）情報交換会（蒲郡市民会館）
9月17日	愛知県進路指導中高連絡会（愛知県教育会館）
9月18日	父母と教師の教育を語る会「教育講演会」（日本特殊陶業市民会館）
9月25日	「子とともに ゆう&ゆう」企画委員会（サイプレスガーデンホテル）
10月02日	愛知県小中学校長会地域代表者会（愛知県教育会館）
10月07日	三河小中学校長会役員・理事、郡市代表者会（竜美丘会館）

「AI×自由進度学習」の弊害



堀越 勉
千代田区立翹町中学校校長
(東京都中学校長会会長)

校長塾

経営力を高める
最重要ポイント

— 544 —

ある大学から、講演の依頼があった。テーマは「AI×自由進度学習」の成果。本校においては、学力低下に結び付いている現状を説明し、丁寧に断りした。主催者の趣旨と真逆の現状が目の前にある。夢のある「虚像」を語る

依存や「自習化」招き学力低下

とを避けてきたのかもしれない。と正対すること

ようなことをしてはならないと私は考える。

しかし、校長は、過去に縛られる必要はない。

は、毎年同じように繰り返されている。これは、本校の仕組みと指導力低下に原因があり、生徒に責任はない。

ソフト会社の設定した無料期間終了に伴い、長田和義前校長の英断により、AIソフトの契約は打ち切られている。

特色ある教育実践がマスコミなどで大々的に取り上げられ、注目を集める学校があるが、退職や異動などにより校長が代わ

た先進的な数学の授業を開発して来た経緯がある。当時としては珍しく、開発業者と共に新

全国規模の校長会の席上で、他県の校長から「AI×自由進度学習」による指導力低下と学力低下の話があった。AIと自由進度学習は、生徒も教員も依存度が高くなる。いかにも、個別最適な学びを実現しているか

公立学校の使命とは何か？ 目の前の子どもの力を伸ばすことだ。私は、その実現に向けて教師の指導力を高めたいと思う。授業研究ベースの数学科授業改善は、一合目を過ぎたところだ。

な提案を全国に発信してきたと聞く。「主体性」の旗印の下、自由進度学習を掛け合わせる形で活用してきた。生徒の学力の経年変化はどうだろうか？ 全国的に展開している標準学力テストの結果を精査してみた。入学時から1年間で数学の偏差値が毎年3〜4程度下がる。場合によっては5下がる学年もある。偏差値の低下

のような錯覚に陥る。経験の少ない教員の授業は「自習化」すると言っただ。使用しているソフトは、本校と同じものだった。本校ではAIに依存した指導と、前回述べた「授業研究や学習指導案は不要」といった考え方が掛け算となり、このような状況を招いた。しかし、AI導入のトップランナーのように宣伝されてきた経緯があり、現実

論点1 教育内容に関すること (第二次導入校)

1 第二次導入校 (愛知県 中高一貫教育導入方針)

類型	タイプ	設置高校名・ 接続する学科	中学校 コース名	導入 形態	1 学年 学級数・ 生徒数
探究学習 重視型	SSH実施校	豊田西 普通科	普通 コース		2 学級 80人
	SSH実施校 ※国際バカロレアの導入を目指す グローバル探究実施校	時習館 普通科	普通 コース		2 学級 80人
高度もの づくり型	※国際バカロレアの導入を目指す	西尾 普通科	国際探究 コース	併設型	2 学級 80人
	AI・データサイエンスに興味・ 関心を持つ生徒の能力、可能性を 引き出す学校	愛知総合工科 理工科	(仮称) 理工 コース		1 学級 40人
地域の教 育ニーズ 対応型	不登校経験のある生徒の能力、可 能性を引き出す学校	日進 普通科	学びの多 様化学校	連携型	1 学級 40人まで
	外国にルーツのある生徒の能力、 可能性を引き出す学校	衣台 普通科	—		—
	地域を支える人を育てる学校	美和 普通科・ 地産深教科	—	—	—

2 各導入校の教育内容の主な特色 (今回検討)

- (1) 豊田西高校併設中学校
- SSHの活動をベースに、教科横断的で文理融合の探究的な学びに取り組む。
⇒ 実践的な英語など世界で活躍できるコミュニケーション能力を高める学び
- (2) 時習館高校併設中学校
- SSHとAGHの活動をベースに、教科横断的で文理融合の探究的な学びに取り組む。
※ AGH (あるいはグローバルハイスクール) : 文部科学省の「スーパーグローバルハイスクール (SGIH)」の取組を継承した事業
 - 中学校・高校への国際バカロレアの導入を目指す。
⇒ 理数教育や国際理解教育をベースとした、文理融合の探究的な学び
・ 高校について全日制学年制から全日制単位数制へ改編

○は導入方針における導入のイメージ
⇒は各学校のコンセプト

- (3) 西尾高校併設中学校
- 地域を土台として「世界から世界へ」「地域から地域へ」の双方向の視点から、グローバルな探究学習に取り組む。
※ グローバル：グローバルとローカルを組み合わせた造語で、地球規模の視野で地域の課題について考えること
 - 中学校・高校への国際バカロレアの導入を目指す。
⇒ 「地域から世界へ」「世界から地域へ」の双方向の視点を育むグローバルな学び
- (4) 愛知総合工科高校併設中学校
- 工科高校の施設と教員を生かした中高一貫教育。
 - 中学校段階からものづくりやAI・データサイエンスに触れ、中高6年間、専攻科を含めると8年間で、DXをリードする人材を育成。
⇒ AI・データサイエンスをもつづくりに活かし、産業界を革新していくDX人材の育成

- (5) 日進高校併設中学校
- 年間総授業時間を削減できる「学びの多様化学校 (不登校特研校)」として設置し、不登校経験のある生徒が、高校卒業まで安心してゆとりをもって学ぶことができる中高一貫教育。
⇒ 個々の生徒に寄り添った学びにより一人一人の可能性を伸ばす
・ 高校について全日制学年制から全日制単位数制へ改編

- (6) 衣台高校
- 外国にルーツのある生徒の能力、可能性を引き出す連携型中高一貫教育。
 - 日本語だけでなく母語にも配慮した授業。
⇒ 中高連携による異文化理解、多文化共生をテーマとした探究学習、キャリア教育

2024年度：連携教育の取組を開始
【連携中学校】豊田市立保見中学校
2026年度：連携教育を受けた生徒が初めて高校に入学

- (7) 美和高校
- 地域での様々な活動を通して、地域を支える人を育てる連携型中高一貫教育。
 - 地域の課題やニーズに対応した教育内容。
 - 地域や大学等と連携したキャリア教育の推進。
⇒ 中高連携による地域に関する探究学習

2024年度：連携教育の取組を開始
【連携中学校】あま市立七宝中学校・七宝北中学校・美和中学校・
甚目寺中学校・甚目寺南中学校、大治町立大治中学校
2026年度：連携教育を受けた生徒が初めて高校に入学

三河小中学校長会役員・理事会、郡市代表者会資料

令和6年10月7日（月）

愛知県小中学校長会事務局

1 令和6年度 東陸小愛知大会について

- ・ 令和6年10月17日（木）・18日（金）
 - 1日目：分科会（名古屋市：ウインクあいち）
 - 2日目：全体会・記念講演（常滑市：常滑市民文化会館）
- 学校経営委員会、東陸小特別委員会、同実行委員会のみなさま、そして、県内各地からご参加いただく予定のみなさまのご理解とご協力に感謝いたします。

2 県教育予算陳情について

10月8日（火）、県小中学校長会教育条件委員会による教育予算学習会が開催されます。

その後、関係市（豊田市・岡崎市・豊橋市・豊川市・新城市）の県議会議員への教育予算陳情を行っていただきます。お手数をおかけしますが、よろしくお願いします。

3 セカンドステージセミナー（退職手当説明会）について

- ・ 11月6日（水）愛知県教育会館7階
 - 午前10時00分 尾張地区の校長先生を対象に
 - 午後1時30分 三河地区の校長先生を対象に
- ・ 欠席される方の資料は、郡市代表の方にまとめてお渡しします。

4 令和7年度当初の小中学校の新設・統廃合について

各郡市で新設・統廃合の情報が入りましたら、県校長会事務局へお知らせください。現時点では、以下のとおりになる予定です。（名古屋市を含む）

- ・ 小学校 956校（増減なし）
- ・ 中学校 406校（1減・1増） ※ 尾張で1減、名古屋で1増（夜間）
- ・ 義務教育学校 2校（増減なし）
- 合 計 1,364校（3校減）

5 「全国中学研究校便覧第37集」（全日中）掲載校について

三河・尾張・名古屋の各地区から2校ずつ推薦され、三河からは以下の2校に決まりました。

- ・ 豊田市立高橋中学校
- ・ 新城市立東郷中学校

7 令和7年度東海北陸・全国大会について

- ・ 東陸小三重大会 令和7年10月 9日(木)・10日(金)
- ・ 全連小福岡大会 令和7年10月16日(木)・17日(金)
- ・ 東陸中岐阜大会 令和7年 7月 3日(木)・ 4日(金)
- ・ 全日中香川大会 令和7年10月23日(木)・24日(金)

8 「アフラック小児がん経験者・がん遺児奨学金制度」2024年度奨学生募集案内について

- ・ 本年度は、公益財団法人がんのこどもを守る会から直接、各中学校に送付されます。

9 県校長会事務局の作品展示について

石川幸浩校長先生(蒲郡・塩津中)の書「地平」

中嶋 桂校長先生(豊川・小坂井東小)の絵画「傘のある路地」

県校長会事務局会議室に展示させていただいています。

県校長会事務局にお立ち寄りの際は、ぜひご覧ください。

令和6年10月7日

三河小中学校長会 郡市代表者 様

三河小中学校長会
会長 彦坂 登一朗

公益財団法人古岡奨学会奨学金受給候補者の推薦について（依頼）

このことについて、令和6年9月5日付けで、愛知県小中学校長会会長から別添写し
のとおり奨学金受給候補者の推薦依頼がありました。

つきましては、別紙「公益財団法人 古岡奨学会 奨学金給与の規程」に基づき、
受給資格を有し、給与を希望する生徒がいましたら、下記により御推薦ください。

記

- 1 提出書類 別紙「令和7年度 古岡奨学会奨学生候補者推薦書」
- 2 提出期限 令和6年10月24日（木）必着
- 3 提出先 三河小中学校長会庶務
田原市立田原中学校 山上高弘 宛
〒441-3421 田原市田原町椿1番地1
※親展扱いで送付してください
- 4 その他
 - (1) 本年度三河地区からの推薦枠は5名です。候補者が5名を超える場合は、役員により候補者の状況を勘案し、選考いたします。
 - (2) 三河地区からの推薦候補者に選ばれた該当校の校長先生には、正式な書類を11月8日（金）までに送付します。
 - (3) 該当校の校長先生は「奨学生推薦書」を作成し、11月18日（月）までに上記三河小中学校長会庶務まで、**親展扱い**で提出してください。
※11月22日（金）までに、まとめて県校長会事務局に提出することとなりますので、**期限を厳守**してください。
 - (4) 11月8日（金）までに正式書類が届かなかった学校につきましては、推薦候補者として選考されなかったものと御理解くださいますようお願いいたします。

【 問い合わせ先：田原市立田原中学校 山上高弘 TEL 0531-22-1218 】



令和6年9月5日

三河小中学校長会
会長 彦坂 登一朗 様

愛知県小中学校長会
会長 都築 孝明

公益財団法人古岡奨学会奨学金受給候補者の推薦について（依頼）

このことにつきまして、別添のとおり古岡奨学会より依頼がありました。

つきましては、「公益財団法人古岡奨学会第46期生(令和7年度)奨学生候補者推薦のお願い」により、奨学生候補者をご推薦くださいますようお願いいたします。

なお、推薦書の提出につきましては、下記のとおりです。ご多用のなか、誠に恐縮に存じますが、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

記

- 1 提出書類
奨学生推薦書（1名につき1枚）・・・5名分
※ 表面の最上段の枠内（西暦や月日、会長名等）は、記入・押印しないでください。
- 2 提出先
愛知県小中学校長会事務局（波多野慎次）
〒460-0007 名古屋市中区新栄一丁目49-10 愛知県教育会館6階
- 3 提出期限
令和6年11月22日（金）
- 4 その他
添付した文書の取り扱いには、ご注意をお願いいたします。

〈担 当〉

愛知県小中学校長会事務局 波多野慎次

〒460-0007 名古屋市中区新栄一丁目49-10

愛知県教育会館 6階

TEL 052-261-8152 FAX 052-261-6807



《部外秘》

令和6年9月吉日

公益財団法人 古岡奨学会 第46期生 (令和7年度) 奨学生候補者推薦のお願い

※ 母子家庭で、母親が生活苦と闘いながら、せめて我が子の高校卒業を心から念願し、その子もまた母親の労苦に報いるべく、向学心をもって勉学に勤しもうとする方々に、可能な範囲で支援をする。
＜古岡奨学会設立 趣意書より＞

1 母子家庭で、経済的条件に恵まれていないこと

- ・ 平均年収所得は350万円以内を目安
- ・ 母親と同居。日本国籍を有する。
- ・ 離婚家庭より、死別家庭を優先
- ・ 一家庭につき1名。他の奨学金受給者も可
- ・ 未婚の母、父子家庭、祖父母家庭は除く。

2 基礎学力があり、3年間頑張れる生徒

- ・ 内申が9教科5段階評価で平均4.0以上を目安 (全日制高校・高等専門学校進学者のみ)
- ・ 向学心があり、困難に打ち克つ強くてしなやかな心を持ち、社会に貢献できる生徒

3 45期生より奨学金は3年間で76万2千円

※ 全額無償給与

- ・ 高1 (46期生) 1万7千円 × 12ヶ月 + 5万円 (入学お祝い金) = 25.4万円
- ・ 高2 (45期生) 1万7千円 × 12ヶ月 + 5万円 (修学旅行補助金) = 25.4万円
(45・46期生は、毎月1万7千の奨学金と年1回のお祝い金・補助金。3年間で76.2万円)
- ・ 高3 (44期生) 1万6千円 × 12ヶ月 + 5万円 (卒業お祝い金) = 24.2万円

4 奨学生候補者の推薦

奨学生候補者 15名

- ・ 令和6年9月 県校長会へ推薦依頼
- 10月 各地区校長会で説明
- 11月末 各地区で推薦者決定・県校長会へ報告
- 12月 県校長会で推薦者決定 (15名)
- 12月末 県校長会より推薦名簿の提出 → 当財団 愛知県担当・丹羽宏之まで

名古屋 5名

尾張 5名

三河 5名

5 内定通知書の送付

- ・ 推薦書受領次第、推薦中学校長に内定通知書を送付

6 高校合格の調査確認 (3月)

- ・ 当財団 愛知県担当・丹羽から該当校 (中学校) へ確認

7 採用通知 (3月)

- ・ 校長会および奨学生に送付

8 卒業生・入学生合同激励会 (3月)

- ・ 令和7年3月下旬に実施。母親と奨学生 (卒業生・入学生) が参加。奨学生に対する説明会も併せて実施

＝連絡先＝ 愛知県担当

〒466-0824

名古屋市昭和区山里町74

八事パークマンション811

丹羽 宏之 (にわ ひろゆき)

TEL 052-832-6030

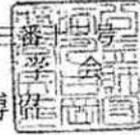
090-2136-4345



2024年7月吉日

愛知県小中学校長会会長 殿

東京都品川区西五反田八丁目三番
公益財団法人 古岡奨
代表理事 宮原 博



公益財団法人古岡奨学会奨学金受給候補者の推薦依頼について

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
平素は、当奨学会業務へのご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、ご高承のとおり、当財団では母子家庭の高校生を対象に、奨学金を給与する事業を行っております。

つきましては、2025年度(当会第46期生)の奨学金受給候補者について、公務ご繁忙の中、お手数とは存じますが、別紙当財団定款および奨学金給与規定等資料ご高覧のうえ、現中学3年在籍生徒の中からご推薦を賜りたく、お願い申し上げます。

ご推薦生徒のご選定にあたっては、奨学金給付規定第2条にございます各項目の条件を満たす、母子家庭の子女(日本国籍を有する)で、経済的条件には恵まれないが、基礎学力と向学心があり、困難に打ち克つしなやかな心を持ち、将来、社会に貢献できる能力を有している生徒をご推薦いただきたく、お願い申し上げます。母子家庭の子女以外は受給資格がありませんので、念のため申し添えさせていただきます。

なお、誠に勝手ではございますが、推薦書は2025年1月31日(金)までにいただきたく、ご高配のほど、重ねてお願い申し上げます。

記

ご推薦いただきたい人数 15名

- 添付書類
1. 公益財団法人 古岡奨学会 設立趣意書
 2. 同 定款
 3. 古岡奨学生候補者の選考基準について
 4. 奨学金給与の規程【46期生】
 5. 奨学生推薦書

※5. はデータでもご提供しております。

以上

別紙

令和6年度 古岡奨学会奨学生候補者推薦書

学校名 []

校長名 [印]

ふりがな 氏名		性別	男・女
志望校名		評定	
家族構成			
年 収	約 万円		
兄弟、姉妹の古岡奨学生の有無	有 ・ 無		
経 緯			
特別活動 その他			

- ※ 「性別」は、いずれかに ○ を印してください。
- ※ 「評定」は、最新のものをお願いします。
- ※ 「経緯」は、母子家庭になった理由を簡単にお書きください。
[例：5歳の時、交通事故により死別 / 3歳の時、病気により死別・・・等]
- ※ 兄弟、姉妹の古岡奨学生の有無は、どちらかに○印をつけてください。
- ※ 「特別活動・その他」は、在籍中学校における特別活動の記録と、学業・健康・人物・将来等について、特記すべき所見がありましたらお書きください。

古岡奨学会奨学生候補者 決定の流れ（R6）

誰 が	実施する内容
三河小中学校長会庶務	<p>10月7日（月）三河小中学校長会・郡市代表者会にて</p> <p>○各郡市の全中学校長へ、推薦関係書類を送信していただくように依頼</p>
各郡市代表	<p>○各郡市の全中学校長へ、推薦の依頼文書を送信</p> <p>その際、文書データは、三河校長会ホームページに掲載済みと伝達</p>
各中学校長	<p>○古岡奨学会奨学生の該当者の有無の調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母子家庭で母親と同居（父親死別が優先） ・1家庭で1名（兄弟がすでに受けている場合は該当しない） ・3年間高校(全日制高校・高等専門学校)を続ける意志がある ・年収350万円以下 ・内申36以上 平均4.0以上 <p>○該当者に応募の意志があるかの確認</p> <p>※該当者がいて、応募の意志がある場合</p> <p>○令和7年度 古岡奨学会奨学生候補者推薦書を作成して郡市代表へ提出</p> <p>○10月24日（木）までに推薦書を三河校長会庶務へ送付</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">田原市立田原中学校 山上高弘 宛 親展扱いで送付 〒441-3421 田原市田原町椿1番地1</p> </div> <p>○<u>推薦者がいない場合は、庶務宛メールにて「なし」と報告</u></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">E-mail: yamakami-takahiro@school.tahara.ed.jp</p> </div>
各郡市代表	
三河小中学校長会役員	<p>○11月1日（金）までに、推薦候補者を5名に絞って候補者を決定</p>
三河小中学校長会庶務	<p>○11月8日（金）までに、推薦候補者となった生徒のいる校長へ、直接、正式な応募書類を郵送</p> <p>※この時点で正式な応募書類が届かなかった場合は、候補者とならなかったことになる。</p>
正式な応募書類が届いた中学校長	<p>○正式な応募書類を作成</p> <p>○11月18日（月）必着で、三河小中学校長会庶務・山上まで正式な応募書類(奨学生推薦書)を郵送</p>
三河小中学校長会庶務	<p>○11月22日（金）までに、まとめて県校長会事務局へ郵送</p>
正式な応募書類を提出した中学校長	<p>○内定通知書が届く</p> <p>○財団愛知連絡所 橋本さんから高校合格の確認が来るので回答する</p> <p>○採用通知が届く（校長・保護者）</p>

秘

公益財団法人

古岡奨学会

ご案内

2025年度用

公益財団法人 古岡奨学会設立 趣意書

設立者 古岡 秀人

(株)学習研究社社長・設立時

回想すれば、私が五歳の時に、筑豊炭田の坑内事故で、父を一瞬のうちに失い、母は貧苦の生活に耐え^{ながら}、私ども兄妹を育ててくれました。幸いに、学費が官費支給であった師範学校に入学する機縁を得て、大過なく今日に至ることができました。

高等高校を卒業していれば、今日の社会構造の中において、その人なりの才能と努力をもってすれば、十分に伍していけることは、既に産業界や文化面などの諸分野に亘って、多くの人材が活躍していることで立証されます。また、大学進学への途を志せば、資格において、それも可能であり、大学に入学すれば、多くの育英会の援助を享受することもできるでしょう。

現在の社会にあつては、最低高校卒業までは、親の子に対する責任と自覚し、吾が子への愛情が高校進学率を高めているとも言えましょう。

高校卒業が、人生の初期の段階のパスポートであり、進学率が高まれば高まるほど、生徒の家庭の事情が多様化することは否めません。殊に一家の大黒柱である父を、不時の交通事故とか病死などで失い、又は、やむなき事情のため離婚せざるを得なくなった母親など、不幸に直面しながらも生活を支え、子女の教育に献身しなければならない家庭も、世の中には非常に多いと仄聞しています。

こういう家庭環境にあつて、母親が生活苦と闘いながら、せめて吾が子の高校卒業を心から念願し、その子もまた母親の労苦に報いるべく、向上心を持って勉学に勤しもうとする方々に対し、私は私のできる可能な範囲で、なんらかの尽力をすることができないだろうかと考えた次第であります。

ここに微財を基金として、公益法人古岡奨学会を設立し、本事業を通じて、いささかなりとも国家社会に貢献する人材の育成に寄与しようとするものであります。

以上

(昭和55年6月4日)

奨学金給与の規程

1 給与の目的

毎年度新学期に、全日制高等学校・高等専門学校へ入学する者の中から奨学生を選定し、学費の一部を3年間にわたり給与することにより、高等学校の教育課程を修了させ、国家社会に有為の人材を養成することを目的とします。

2 奨学生の推薦と決定

各都道府県中学校長会等の推薦を受け、当財団において選考の上、全日制高等学校・高等専門学校への進学を確認して正式決定いたします。

※全日制高校、高等専門学校に限ります。通信制高校、定時制高校は不可

※高等専門学校生は在学当初の3年間の支給になります

3 奨学金給与金額（2025年）と給与方法

※全額無償給与

高校1年生（46期生） 1万7千円×12か月 + 5万円（入学祝い金） = 25.4万円

高校2年生（45期生） 1万7千円×12か月 + 5万円（修学旅行補助金） = 25.4万円

高校3年生（44期生） 1万6千円×12か月 + 5万円（卒業祝い金） = 24.2万円

※古岡奨学会設立45周年を記念して、45期生より奨学金を1か月1,000円増額いたしました。

※奨学金は年3回、5月・9月・1月の一定日に、4か月分を「ゆうちょ銀行」の総合口座に送金いたします。

※入学祝い金は「入学激励会」時に、修学旅行補助金は高校2年次の「5月の送金に加えて」、卒業祝い金は「卒業激励会」時にお渡しいたします。

4 受給者の資格

- ① 母子家庭の子女（日本国籍を有する）であること
 - *未婚の母、父子家庭、祖父母家庭は除く
 - *設立の趣旨から、離婚家庭より死別家庭の子女を優先願いたい
- ② 経済的条件に恵まれていないこと
 - *年収の上限…350万円以内を目安に
- ③ 基礎学力と向学心があり、困難に打ち克つしなやかな心を持ち、将来、社会に貢献できる能力を有している子女
 - *9教科5段階評価平均4.0以上を目安に
- ④ 一家庭につき奨学生の採用は1名とする
 - *過去に兄弟が当財団の奨学生だったご家庭は除く（多くの母子家庭を応援）
- ⑤ 他の奨学金、育英資金の受給者であっても可

古岡奨学生のきまり（お約束）

1. 常に向学心をもって励み、他に迷惑をかける行為をしないこと
2. 1年・2年の学年末に、学校が発行する*「成績証明書」を連絡所（顧問の先生）に提出すること（*成績通知表ではありません）
3. 1年・2年の学年末に、年間を振り返った作文を提出すること
4. 3年次には、卒業文集「奨学」に掲載する作文を提出すること
5. 下記の事項が起きた場合は、速やかに連絡所（顧問の先生）に連絡すること
 - ア. 転校・退学・休学・停学・留年になりそうな時
 - イ. 病気やけがで長期欠席する時
 - ウ. 奨学金を必要としなくなった時（保護者の再婚も含まれます）
 - エ. 転居・住居表示・電話番号・保護者連絡先等に変更があった時
 - オ. 校長先生・担任の先生が代わられた時
6. 下記の事項が起きた場合は、奨学金の支給が停止となる場合がある事を了承すること
 - ア. 奨学金を必要としなくなった時（保護者の再婚も含まれます）
 - イ. 退学・留年・転校になった時（通常の転校は問題ありませんが、通信制・定時制・専門学校等は支給対象外）
7. 奨学金の入金を確認したら、1週間以内に返信メール（領収証を兼ねる）を事務局に送ること
8. 卒業時・卒業後には、進路を必ず連絡所（顧問の先生）へ報告すること
（あるいは、卒業激励会でお渡しした「変動ハガキ」で事務局に報告すること）

※お約束が不履行の場合には、給与を停止する事があります。

※個人情報について

当財団は、個人情報に関する法令の遵守とプライバシーの尊重に配慮しています。

奨学生の皆さんには年3回会報紙「奨学ライフ」を発行しています。その記事として、1・2年生の学年末に提出していただく作文や、事務局に届きました年賀状・近況報告、会合などでの写真をその会報紙に掲載する場合があります。ご了承下さい。

（これら会報紙や文集は、国立国会図書館に供すること〔国立国会図書館法25条に基づく〕があります。併せてご了承下さい。）

奨学生推薦書

公益財団法人 古岡奨学会 代表理事 宮原 博昭 殿

下記の者を貴会の奨学生として適当と認め推薦いたします。

(西暦) 年 月 日

都・道・府・県 中学校長会長

印

被推薦 生徒欄	フリガナ				校名	立	
	氏名				所在地	中学校	
	生年月日	(西暦)	年	月	日生	〒	
	性別	男・女	保護者との関係				電話番号
	現住所	〒			志望高校	第1志望	高校
※建物名や部屋番号もご記入ください。							
※通信制・定時制高校への進学は奨学金給与の対象外となりますのでご注意ください。							

同上 保護者(母)欄	フリガナ				生年月日	(西暦)	
	氏名				年	月	日生
	現住所	〒					※アパート・マンション名や部屋番号もご記入ください。
	自宅電話	()		携帯電話	()		
	年 収 (概算でよく証明不要) 約	万円		職 業			
	母以外の家族	生徒との関係	氏 名	年 令	勤め先または在籍学校名	同居・非同居の別	
						同・非	
					同・非		
					同・非		
					同・非		
				同・非			

※奨学会注記 保護者の年収欄は概算を記入、証明書等の必要はありません。

令和6年度 三河小中学校長会 一般会計 中間報告

令和6年9月26日現在

項 目	当初予算額	中間決算額	摘 要
収入総額	5,700,000	5,504,347	
支出総額	5,700,000	3,022,348	
差引残高	0	2,481,999	

【収入の部】

項 目	当初予算額	中間決算額	増 減	摘 要
会 費	2,910,000	2,910,000	0	6,000円×485人
助 成 金	1,688,250	1,492,500	△ 195,750	愛知県小中学校長会、愛知県教育振興会、愛知教育文化振興会 日本教育公務員弘済会愛知支部、教職員共済生活協同組合愛知県支部等
雑 収 入	20	117	97	預金利息
繰 越 金	1,101,730	1,101,730	0	
合 計	5,700,000	5,504,347	△ 195,653	

【支出の部】

項 目	当初予算額	中間決算額	残 額	摘 要
総 会 費	650,000	594,944	55,056	定期総会費
会 議 費	1,000,000	239,114	760,886	役員・理事・評議員会、郡市代表者会等
調査研究費	1,500,000	1,080,000	420,000	専門・特別委員会研究調査費、へき地教育研究助成費
活 動 費	1,000,000	399,840	600,160	大会参加費、ホームページ作成費等
渉 外 費	700,000	500,000	200,000	役員渉外費、講師御車代等
通 信 費	400,000	207,060	192,940	郵送代、封筒代
雑 費	400,000	1,390	398,610	用紙代、振込み手数料代
予 備 費	50,000	0	50,000	
合 計	5,700,000	3,022,348	2,677,652	

令和7年度 三河小中学校長会諸会合（一次案）

令和6年10月7日現在

月 日 (曜日)	時刻	会 合 名	会 場	備考	5 年度
4月11日(金)	11:00 13:15 15:00 15:15 15:15	仮役員・理事会 郡市代表者会・評議員会 専門委員会全体会 専門委員会 郡市会計担当者会	ライフポートとよはし (0532-33-2113)	※仮予約済み ※4/10(木)と なる可能性 あり	4/10 (水)
4月23日(水)	15:30	仮役員会	岡崎市竜美丘会館 (0564-24-3951) 302 会議室	※仮予約済 13～18 時	4/23 (火)
5月13日(火) ※県校長会総会 5/19▶月	12:00 14:30	総会準備会 三河校長会総会 懇親会 (ローレライ)	岡崎市竜美丘会館 (0564-24-3951) 全館 9-17 時	※優先予約	5/8 (水)
6月6日(金)	13:30 15:00	役員・理事会、常任委員会 校長研修会	オンライン会議 ※基地局： 三河教育会館 (0564-51-4819)	※仮予約済	6/10 (月)
8月8日(金) ※尾張 8/7・木	14:00 16:00 17:00	役員・理事会、評議員会 主催団体打合せ 三河教育懇談会 (知事教育講演会)	岡崎ニューグランドホテル (0564-21-5111)	義務教育課に依頼 し、知事に打診中	8/9 (金)
10月7日(火)	13:30 15:00	役員・理事会、郡市代表者会 校長研修会	岡崎市竜美丘会館 (0564-24-3951) 301・302 会議室	※仮予約済 13～17 時	10/7 (月)
11月7日(金)	13:30 15:00	役員・理事会、郡市代表者会 校長研修会 懇親会 (ローレライ) ※予約済	岡崎市竜美丘会館 (0564-24-3951) 301・302 会議室	11/1(金) 予約受付開始	11/8 (金)
1月14日(水) ※仮予約済	14:00 15:30	役員・理事会、常任委員会 校長研修会	オンライン会議 ※基地局： 三河教育会館 (0564-51-4819)	※仮予約済	1/10 (金)
2月3日(火)	15:00 16:00	役員・理事会、評議員会 校長研修会 歓送会	岡崎ニューグランドホテル (0564-21-5111)	※仮予約済 3F 飛竜の間	1/28 (火)
2月27日(金)	15:00 16:00	役員・理事会、常任委員会 校長研修会 懇親会 (ローレライ)	岡崎市竜美丘会館 (0564-24-3951) 301 会議室 12-18 時	2/1(土) 予約受付開始	2/28 (金)

令和7年度 年間行事(検討資料)

(令和7年)

令和6年10月2日現在

4 月		5 月		6 月		7 月		8 月		9 月	
1 火		1 木		1 日		1 火		1 金		1 月	始業式?
2 水		2 金		2 月		2 水		2 土		2 火	
3 木	①会計理事会14:30局 会計監査会15:30局	3 土	憲法記念日	3 火		3 木	東陸中理事会 東陸中岐阜大会	3 日		3 水	④理事会P館
4 金	小学校入学式?	4 日	みどりの日	4 水		4 金	↓	4 月		4 木	
5 土		5 月	こどもの日	5 木		5 土		5 火		5 金	
6 日		6 火	振替休日	6 金		6 日		6 水		6 土	
7 月	中学校入学式?	7 水		7 土		7 月		7 木		7 日	
8 火		8 木		8 日		8 火	③理事会A館 ②常任・評議員会P館	8 金		8 月	
9 水	①庶務理事会A局 ①地代会P館 ①県市代表者会15:00館	9 金		9 月		9 水		9 土		9 火	
10 木		10 土		10 火	②理事会A館	10 木		10 日		10 水	
11 金		11 日		11 水		11 金		11 月	山の日	11 木	
12 土		12 月		12 木		12 土		12 火		12 金	
13 日		13 火	三河校長会総会	13 金	②会計理事会A局 ②地代会P館 ②県市代表者会15:00館	13 日		13 水		13 土	
14 月		14 水	全日中理事会 尾張校長会総会	14 土		14 月		14 木		14 日	
15 火	名古屋市校長会総会	15 木	全日中総会 東陸小理事研修会	15 日		15 火		15 金		15 月	敬老の日 広報発行
16 水	①理事会A館 委員会部会P館	16 金	↓ 県へき地研総会	16 月		16 水		16 土		16 火	
17 木	全国学力・学習状況調査?	17 土		17 火		17 木		17 日		17 水	
18 金	②庶務理事会A局 ①常任・評議員会14:00館	18 日		18 水		18 金	(1学期終業式?)	18 月		18 木	
19 土		19 月	県校長会総会 広報発行	19 木		19 土		19 火		19 金	
20 日		20 火		20 金		20 日		20 水		20 土	
21 月		21 水	三河教育研究会総会?	21 土		21 月	海の日	21 木		21 日	
22 火		22 木	全連小理事会	22 日		22 火		22 金		22 月	
23 水		23 金	↓ 全連小総会	23 月		23 水		23 土		23 火	秋分の日
24 木		24 土		24 火		24 木		24 日		24 水	
25 金		25 日		25 水		25 金		25 月		25 木	
26 土		26 月		26 木		26 土		26 火		26 金	
27 日		27 火		27 金		27 日		27 水		27 土	
28 月		28 水	調査研究打合せA館	28 土		28 月		28 木		28 日	
29 火	昭和の日	29 木		29 日		29 火		29 金		29 月	
30 水		30 金		30 月		30 水		30 土		30 火	
///	///	31 土	///	///	///	31 木		31 日	///	///	///

※斜体は会場未確定 A=10:00 P=13:30 局=校長会事務局 館=教育会館7階

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1水		1土		1月		1木	元日 広報発行	1日		1日	広報発行
2木		2日		2火		2金		2月		2月	
3金	⑥理事会A館 ③地域代表者会P館	3月	文化の日	3水	⑥理事会A館	3土		3火		3火	
4土		4火		4木		4日		4水		4水	
5日		5水		5金	④地代会P館 ③県市代表者会15:00館	5月	仕事始め	5木		5木	
6月		6木		6土		6火		6金	③会計理事会A局 ⑥理事会P館	6金	中学校卒業式？
7火		7金	幼ナドステーション AP館	7日		7水	始業式？	7土		7土	
8水	教育予算学習会P館	8土		8月		8木		8日		8日	
9木	東陸小理事研修会 東陸小三重大会	9日		9火		9金	③庶務理事会A局 ⑦理事会P館	9月		9月	
10金	↓	10月		10水		10土		10火	④庶務会計理事会A局 ⑥地域代表者会P館 ③県市代表者会15:00館	10火	⑥理事会A館 ③常任・評議員会P館
11土		11火		11木		11日		11水	建国記念の日	11水	
12日		12水		12金		12月	成人の日	12木		12木	
13月	スポーツの日	13木		13土		13火		13金	全日中事務担当者会	13金	
14火		14金		14日		14水		14土		14土	
15水	全連小理事会	15土		15月		15木	日本中学校体育連盟愛知大会	15日		15日	
16木	全連小福岡大会	16日		16火		16金	⑥地域代表者会P館 全日中理事会Web	16月		16月	
17金	↓	17月		17水		17土		17火		17火	
18土		18火		18木		18日		18水		18水	
19日		19水		19金		19月		19木		19木	小学校卒業式？
20月		20木		20土		20火		20金		20金	春分の日
21火		21金	あいちウィーク	21日		21水		21土		21土	
22水		22土		22月		22木		22日		22日	
23木	全日中香川大会	23日	勤労感謝の日	23火	終業式？	23金		23月	天皇誕生日	23月	
24金	↓	24月	振替休日	24水		24土		24火		24火	修了式？
25土		25火		25木		25日		25水		25水	
26日		26水		26金	仕事納め	26月		26木		26木	
27月		27木	あい知県民の日	27土		27火		27金		27金	
28火		28金		28日		28水		28土		28土	
29水		29土		29月		29木	東陸小理事研修会(福井) 東陸中理事会(愛知)	29日		29日	
30木		30日		30火		30金	↓ ↓	30月		30月	
31金		31水		31水	大晦日	31土		31火		31火	

令和7年度 関係団体総会・大会等予定

令和6年10月7日現在

年 月 日 (曜)	会 合 名	会 場 (理事会期日)
07.04.15 (火)	名古屋小中学校長会総会	
07.05.14 (水)	尾張小中学校長会総会	
07.05.15 (木) 05.16 (金)	全日本中学校長会総会	東京都 (理事会5/14▶水)
07.05.16 (金)	県へき地教育研究協議会総会	豊田市小原交流館
07.05.19 (月)	県小中学校長会総会	日本特殊陶業市民会館
07.05.21 (水)	三河教育研究会総会	蒲郡市民会館
07.05.23 (金)	全国連合小学校長会総会	東京都 (理事会5/22▶木)
07.07.03 (木) 07.04 (金)	東海北陸中学校長会研究協議会 岐阜大会	岐阜県岐阜市 (理事会7/3▶木)
07.10.09 (木) 10.10 (金)	東海北陸地区連合小学校長会 教育研究三重大会	三重県津市 (理事研修会10/9▶木)
07.10.16 (木) 10.17 (金)	全国連合小学校長会研究協議会 福岡大会	福岡県福岡市 (理事会10/15▶水)
07.10.23 (木) 10.24 (金)	全日本中学校長会研究協議会 香川大会	香川県高松市 (理事会10/22▶水)
07.11.06 (木) 11.07 (金)	全国へき地教育研究大会 新潟大会	新潟県新潟市
隔年開催のため、 令和7年度はなし	東海北陸へき地教育研究大会	/
07.06.28 (土)	日本教育会総会・合同研修会	東京都千代田区「主婦会館」
07.11.01 (土)	日本教育会全国教育大会	大阪府大阪市北区 大阪工業大学 梅田キャンパス

令和7年度 三河部附属学校研究会予定

年 月 日 (曜)	研 究 会 名
11月19日(水)	附属岡崎小学校生活教育研究協議会
10月7日(火)	附属岡崎中学校生活教育研究協議会
11月7日(金)	附属特別支援学校障害児教育研究協議会

※現段階での予定、確定ではない。

令和7年度 会費・負担金・購読料等

項 目	令和7年度	【参考】令和6年度	備 考
県校長会 会費	23,000円	21,000円	(年額)
東海北陸小 会費	1,000円	1,000円	
東海北陸中 会費	1,000円	1,000円	
全連小 負担金	8,000円	8,000円	
全日中 会費	7,500円	7,500円	
日本教育会 会費	未 定	3,100円	12月初旬に決定の予定
「小学校時報」購読料	3,972円	3,972円	(年間) 郡市一括送誌
「中 学 校」購読料	4,200円	4,200円	1冊350円(税込)×12

令和7年度 郡市別学校数一覧（予定）

郡市名	令和6年度数				変動の有無	令和7年度予定数			
	小	中	義務教育 学校	計		小	中	義務教育 学校	計
岡崎	47	20		67	なし	47	20		67
碧南	7	5		12	〃	7	5		12
刈谷	15	6		21	〃	15	6		21
豊田	75	28		103	〃	75	28		103
安城	21	8		29	〃	21	8		29
西尾	25	9	1	35	〃	25	9	1	35
知立	7	3		10	〃	7	3		10
高浜	5	2		7	〃	5	2		7
みよし	8	4		12	〃	8	4		12
幸田	6	3		9	〃	6	3		9
西三河計	216	88	1	305	〃	216	88	1	305
豊橋	52	22		74	〃	52	22		74
豊川	26	10		36	〃	26	10		36
蒲郡	13	7		20	〃	13	7		20
田原	18	4		22	〃	18	4		22
新城	13	6		19	〃	13	6		19
北設楽	6	3		9	〃	6	3		9
東三河計	128	52	0	180	〃	128	52	0	180
総計	344	140	1	485	〃	344	140	1	485

(写)

6教あ第603-4号
令和6年10月7日

愛知県小中学校長会長 殿

愛知県教育委員会教育長

第五次愛知県教育振興基本計画（仮称）作成のための意見の集約について（依頼）

本県では、あいちの教育を推進していくため、令和3年2月に策定した第四次愛知県教育振興基本計画（あいちの教育ビジョン2025）の次期計画として、第五次愛知県教育振興基本計画（仮称）を策定することとしております。

そこで、新たな計画を作成するに当たり、小中学校長会から、率直なご意見やご提案をいただきたいと考えましたので、ご多用中恐れ入りますが、下記によりご協力をお願いいたします。

記

1 提出物

第五次愛知県教育振興基本計画（仮称）作成のための意見集約用紙

2 提出方法及び提出先

電子メールでご送付ください。

あいちの学び推進課 振興・計画グループ

aichi-manabi@pref.aichi.lg.jp

3 提出期限

令和6年12月6日（金）

4 その他

ご意見・ご提案のない項目については、空欄で構いません。

「あいちの教育ビジョン2025」は以下のURLからもご覧いただけます。

<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/aichi-manabi/20210212.html>

担 当 あいちの学び推進課

振興・計画グループ（此下）

電 話 052-954-6778（ダイヤルイン）

ファックス 052-954-6962

電子メール aichi-manabi@pref.aichi.lg.jp

第五次愛知県教育振興基本計画（仮称）作成のための意見集約用紙

1 第四次教育振興基本計画（あいちの教育ビジョン2025）は、七つの取組の方向、30の取組の柱とそれに基づく施策の展開から構成されています。現在、教育活動を進めるにあたり、教育振興基本計画に不足している視点や展開してほしいと感じる施策は、どのようなことですか。ご意見・ご提案などをお書きください。なお、次期教育振興基本計画には、これまで別々に策定していた「愛知県学校教育情報化推進計画」「あいちの学び未来応援プラン（生涯学習推進計画）」「愛知県子ども読書活動推進計画」の3つの計画を包含する予定です。

※ 皆様からいただいたご意見・ご提案により、第五次愛知県教育振興基本計画の取組の方向や柱等の構成を変更する場合がありますのでご了承ください。

※ ご意見・ご提案のない項目については、空欄で構いません。

あいちの教育ビジョン2025：<https://www.pref.aichi.jp/soshiki/aichi-manabi/20210212.html> 所屬() お名前()

基本的な取組の方向	取組の柱	施策の展開	ご意見・ご提案など
1 自ら学びに向かう教育を充実させ、自己の可能性を伸ばす力を育みます	(1) 主体的・対話的で深い学びの推進ときめ細かな指導の充実	① 主体的・対話的で深い学びの推進 ② 少人数教育等、学びの環境の充実 ③ 個別最適な学びの保障	
	(2) 情報活用能力の育成とICT活用教育の推進	① 情報活用能力の育成 ② ICTを活用した個別最適な学びと社会とつながる協働的な学びの実現 ③ 子供の学びや教職員を支えるICT教育環境の充実	
	(3) SDGsの理念を踏まえた教育の推進	① SDGsについての学習の推進 ② SDGsの理念を取り入れたESDの推進 ③ 環境教育等の推進	
	(4) 多様な学びを保障する学校・仕組みづくり	① 総合学科等の新たな設置と普通科の活性化 ② 全日制単位制高校の設置、定時制・通信制教育の充実 ③ 新しい公立高等学校入学選抜の導入 ④ 民間教育施設との連携・学び直しの機会の充実 ⑤ 県立学校の魅力化と適正配置	
	(5) 理数教育の推進	① 理数科の授業の充実 ② 子供の興味・関心を生かした探究型学習の推進 ③ 高等学校における先進的な理数教育の推進	
	(6) 特別支援教育の充実	① 多様な学びの場における支援・指導の充実 ② 教員の専門性の向上 ③ 教育諸条件の整備 ④ 卒業後の生活へのスムーズな移行	
	(7) 幼児教育の充実	① 幼児教育のさらなる充実 ② 家庭・地域における幼児教育の支援 ③ 幼児教育を推進するための体制の構築	

	<p>①ふるさと教育の推進 ②へき地教育の振興 ③伝統文化・文化財の保存・活用・継承・魅力発信 ④芸術の創造・発信と文化芸術の担い手・支え手づくり ⑤県民、NPO、ボランティア、企業等が協働した多様な交流・創造の実現</p>	
	<p>①発達段階の成長課題に応じたキャリア教育の充実 ②キャリア教育推進体制の充実 ③女性の活躍促進に向けた教育の充実</p>	
	<p>①科学好きの児童生徒の育成 ②産業教育の推進 ③大学・専門学校、産業界との連携</p>	
	<p>①グローバル社会で活躍できる人材の育成 ②多文化共生に向けた教育の充実</p>	
	<p>①英語教育等の充実 ②小中学校、高等学校のつながりを意識した英語教育の充実 ③教員の研修の充実</p>	
	<p>①外国人児童生徒の教育の位置付けの明確化 ②外国人児童生徒等の受け入れ体制整備の支援 ③日本語指導に関わる教員の資質向上 ④学び直しのための施策の充実 ⑤高等学校における配慮 ⑥ICTの活用 ⑦地域における日本語学習・日本語教育への支援 ⑧外国人児童生徒等の保護者に対する働きかけの推進</p>	
	<p>①学校の役割の明確化及び教職員の職務の見直し ②業務の精選と切り離し・外部人材の活用 ③長時間勤務者や学校への個別のフォローアップ体制の構築 ④部活動の在り方を見直し ⑤「学校の新しい生活様式」に対応した学級規模の実現 ⑥ICTの活用による業務改善</p>	
	<p>①地域による学校への支援体制づくりの推進 ②地域人材の活用 ③学校を核とした地域づくり ④異なる学校種間・設置者間の連携</p>	
	<p>①優秀な教員の確保に向けた取組の推進 ②「愛知が求める教師像」の実現に向けた教員養成 ③教員の資質・能力の向上を支援する組織体制の強化</p>	

4 ふるさととの魅力やあいちの伝統・文化に学びつつ、技術の進歩に取り組み、社会の発展を支える人を育みます

5 世界とつながり、生き生きと活躍するために必要な力を育みます

6 子供の意欲を高め、教師の働きがいがある魅力的な教育環境づくりを進めます

7 大規模災害や感染症拡大等の緊急時においても、子供たちが安心・安全に学べることを保障します	(28) 学校施設・設備の充実	①学校施設の防災機能の強化及び計画的・効率的な長寿命化の推進 ②快適な教育環境の実現 ③理科教育・産業教育環境の充実 ④ICT機器等の教育環境の整備の推進 ⑤特別な支援を必要とする幼児児童生徒のための教育環境の充実 ⑥県立学校の魅力化と適正配置	
	(29) 大規模災害や感染症拡大等の緊急時における学びの保障	①ICTを活用した学びの保障 ②「学校の新しい生活様式」に対応した教育環境の整備 ③心のケア実施体制の充実 ④学校保健衛生対策の充実 ⑤各学校における危機管理マニュアル等の見直し	
	(30) 学校安全・防災教育の推進	①学校安全・防災に向けた実践的な活動の充実 ②学校安全・防災に関する学びの充実と人材の育成	

- 2 新たな教育振興基本計画の策定に当たって、新たな課題、または、より重要な課題として検討すべき事項はどんなことだとお考えですか。
 例) ○学習指導要領に基づく学び方の変革 ○多様なニーズに応える教育 ○外国人生徒の受け入れ増加 ○多様性を尊重する取組
 ○急速な技術革新等による課題 ○働き方改革について(学校の機能の見直し、従来の教育活動の切り離しや外部化など)
 ○教員志望者数の減少、優秀な人材の確保 ○定員(生徒)減少に対する対応 ○地域間格差や地域課題 など

検討すべき課題	そう考える理由や、現在の困り感など	ご提案・ご意見など

- 3 その他、どのようなことでもけっこうですので、「あいちの教育振興基本計画」について思うことをお書きください。

提出先: あいちの学び推進課

aichi-manabi@pref.aichi.lg.jp

ご協力ありがとうございました。

令和6年度 校長会 慶弔（慶）記録（9月20日現在）

月日	所属・職名等	氏名	続柄	祝電	備考
4.1	碧南市教育長 豊田市教育長 安城市教育長 知立市教育長 豊川市教育長 蒲郡市教育長 田原市教育長 設楽町教育長	生田 弘幸	本人	○	再任
		山本 浩司	本人	○	再任
		石川 良一	本人	○	再任
		宇野 成佳	本人	○	再任
		大江 孝一	本人	○	新任
		壁谷 幹朗	本人	○	再任
		伊藤 正徳	本人	○	新任
		大須賀 宏明	本人		再任
4.2	高浜市教育長	岡本 竜生	本人	○	再任
4.29		鈴木 栄二	本人	○	春の叙勲（瑞宝双光章）
		都築 公人	本人	○	春の叙勲（瑞宝双光章）
		川合 基弘	本人	○	春の叙勲（瑞宝双光章）
		白井 宏治	本人		春の叙勲（瑞宝双光章）
		小野 伸之	本人	○	春の叙勲（瑞宝双光章）
7.1	東栄町教育長	岡田 守	本人	○	新任

令和5年度末から令和6年度計報対応一覧（9月20日現在）

死亡月日	学校名等		関係 校長氏名	続柄	弔電			対応
	地区名	学校名・役職名等			県	三	退	
06.02.10	豊田	元豊田市立小原中学校長	増田 守	本人				ご遺族の意向により対応なし
06.03.05	岡崎	元岡崎市立額田中学校長	平岩 和博	本人	○		○	家族葬
06.03.21	豊田	豊田市立若林西小学校長	加藤 佳子	同居 義父				葬儀当日の連絡のため対応できず
06.03.25	豊橋	県教育委員会義務教育課課長補佐 (元豊橋市立玉川小学校長)	塩野谷文雄	実母	○	○		
06.03.26	西尾	元西尾市立幡豆小学校長	深見 脩	本人	○		○	
06.03.26	豊田	元豊田市立小清水小学校長 (元郡市代表)	前田 勝洋	本人	○		○	
06.04.08	岡崎	元岡崎市立城北中学校長	磯谷 栄一	本人	○		○	
06.04.14	新城	元新城市立作手中学校長	尾藤 壽伸	本人	○		○	
06.04.09	豊川	元豊川市立豊小学校長 (元三河小中学校長会会長)	安藤 求	本人				葬儀後の連絡のため対応できず
06.04.18	田原	田原市立高松小学校長	鈴木 和美	実父	○	○		
06.04.21	豊川	豊川市立牛久保小学校長	小澤 慎一	実母	○	○		
06.05.02	豊田	元豊田市立阿蔵小学校長	宇井 儀一	本人	○		○	
06.05.07	豊橋	豊橋市立老津小学校長	前田 近子	実母				ご遺族の意向により対応なし
06.05.17	豊田	元豊田市立大蔵小学校長	鈴木 博之	本人	○		○	家族葬
06.05.23	豊田	豊田市立大林小学校長	川原 三佳	同居 義父	○	○		
06.05.28	岡崎	元岡崎市立常磐東小学校長	三浦 倫夫	本人	○		○	
06.05.30	豊田	元豊田市立梅坪小学校長	渡辺 和夫	本人	○		○	家族葬
06.05.31	豊田	元豊田市立追分小学校長	鈴木 貞男	本人	○		○	家族葬
06.06.01	北設楽	元北設楽郡設楽町立田峯小学校長	今泉 幸夫	本人				葬儀当日の連絡のため対応できず
06.06.05	岡崎	元岡崎市立男川小学校長 豊川市立長沢小学校長	藤井 洋典 藤井 慎	本人 実父	○	○	○	家族葬
06.06.07	豊川	豊川市立一宮東部小学校長	近藤 裕	実父	○	○		
06.06.11	豊田	豊田市立東山小学校長	杉本 康弘	実母	○	○		家族葬
06.06.14	豊橋	豊橋市立芦原小学校長	渡曾真理子	実母				葬儀当日の連絡のため対応できず
06.06.14	豊田	豊田市立小原中部小学校長	水島 一矢	実父				葬儀後の連絡のため対応できず
06.06.27	北設楽	元北設楽郡津具村立津具中学校長 (三河小中学校長会郡市代表)	園原 武志	本人	○		○	
06.07.12	豊橋	元豊橋市立中部中学校長 (豊橋市教育長・三教研会長)	地宗 一郎	本人	○	○	○	
06.07.14	田原	元田原市立六連小学校長	河合 長	本人	○		○	

06.07.15	豊橋	豊橋市立五並中学校長	鈴木 宏卓	実父	○	○		
06.07.23	豊田	元豊田市立下山中学校長	青井 治清	本人	○		○	
06.07.26	新城	元新城市立千郷中学校長	長坂 俊一	本人	○		○	
06.08.02	豊田	元豊田市立旭中学校長	藪崎 昭彦	本人	○		○	
06.08.06	豊田	豊田市立加納小学校長	野村 幸弘	妻	○	○		
06.08.12	豊田	元豊田市立井上小学校長	中川 敏生	本人	○		○	
06.08.02	岡崎	元岡崎市立美川中学校長	山田 利一	本人				葬儀後の連絡のため対応できず
06.08.22	豊田	元豊田市立藤岡中学校長	竹中 徹哉	本人	○		○	
06.08.31	豊田	豊田市立五ヶ丘東小学校長	上野 美樹	実母				ご遺族の意向により対応なし
06.07.10	安城	元安城市立高棚小学校長	太田 鉄男	本人				葬儀後の連絡のため対応できず
06.08.27	豊川	元豊川市立御津南部小学校長	萩原 正彦	本人				葬儀後の連絡のため対応できず

